

# 国語

【注意】

この問題はマークシート問題と記述式問題とにわかれています。

設問部分に「マ」とあるものはマークシート問題、「記」とあるものは記述式問題です。マークシート問題・記述問題ともにそれぞれ全問が通し番号になっていますが、記述式問題は設問ごとに個別にわけた解答欄となっています。

それぞれ所定の用紙・箇所解答を記してください。

第1問 次の文の傍線部の読みを、送りがなを含め「ひらがな」で書きなさい。（慣用読みは正解としない）

記1 介護の現場を目の前にして全身に力が漲るのを感じた。

記2 この作業のポイントを会得しなければならない。

記3 先達の教えを忠実に受け継ぐ。

記4 これまでの軽率妄動を深く反省した。

第2問 次の漢字（送りがなを含む）の読みが正しければマーク欄「1」を、誤っていればマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ1 蔑む「ねたむ」

マ2 須らく「ながらく」

マ3 言質「げんち」

マ4 出納「しゅつとう」

マ5 克己心「かつこしん」

第3問 次の文の傍線部の「漢字」表記として正しいものをひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

マ6 天才としてのヘンリンをうかがわせる。〔1〕辺鱗 〔2〕片鱗 〔3〕偏鱗

マ7 この花のカレンな姿は印象的だ。〔1〕佳憐 〔2〕華憐 〔3〕可憐

マ8 キンゲンジツチヨクな人柄に惹かれる。〔1〕謹厳実直 〔2〕禁厳実直 〔3〕勤厳実直

第4問 次の文の傍線部のカタカナを文意に即して「漢字」で書きなさい。各設問には異なる熟語が入ります。また、同じ解答が複数箇所を書いてある場合はすべて誤りとします。

記5 管理者からのヨウセイに応じて勤務時間を変えることにした。

記6 この部署は優れた後継者のヨウセイが急務である。

記7 検査薬にヨウセイの反応があらわれた。

第5問 次のそれぞれの語の対義語ないし類義語をあとの選択肢からひとつ選び、記号で答えなさい。また、対義語の場合はA、類義語の場合はBを、それぞれ区分欄に記しなさい。

- 記8 敏捷  
記9 過失  
記10 表明  
記11 簡潔  
記12 穩健

【語群】

- ア. 卑下    イ. 損害    ウ. 感心    エ. 鈍重    オ. 故意  
カ. 冗漫    キ. 過激    ク. 開陳    ケ. 暗愚    コ. 沈黙

第6問 次の文中には漢字の変換ミスが三箇所あります。それぞれの語を   で囲み、さらにそれを正しい漢字に直して解答欄のそれぞれの箇所(記13～15)に記しなさい。  
なお、順序は問いません。

感染症が全国に蔓延するようになって移行、各種の学校に遠隔授業が導入されるケースが著しく増加した。専門学校でもその状況は同じであり、遠隔授業の受講のために何時間もネット接続し、コンピュータを通して学習することが一般化した。他方、その遠隔授業の披露を同じくネットを通じて癒す余暇の使い方もまた広範囲に親等するなかで、そうした長時間のネット接続に起因すると思われる体調不良を訴える若者もまた増大したのである。

第7問 次の慣用表現の空欄に入るもっともふさわしいものひとつを選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

- マ9 手塩に「    」  
「1」かける 「2」はかる 「3」はめる 「4」まぶす  
マ10 物議を「    」  
「1」来す 「2」醸す 「3」宿す 「4」正す  
マ11 水泡に「    」  
「1」浮く 「2」飲まれる 「3」濡れる 「4」帰す

第8問 次の語句の意味としてもっともふさわしいものをひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

マ12 口をぬぐう

「1」喉の渴きをいやすこと 「2」他人の陰口をたたくこと

「3」心の動揺を隠すこと 「4」悪事をはたらいてもそ知らぬふりをする事

マ13 固唾<sup>かたず</sup>をのむ

「1」緊張してじっと見守ること 「2」のどがひどく渴くこと

「3」真剣に課題に向き合うこと 「4」これ以上の努力をやめること

マ14 大鉦<sup>おおな</sup>を振るう

「1」無謀な計画を立てること 「2」思い切った処理をすること

「3」相手に脅しをかけること 「4」一気に勝敗を決する行動に出ること

第9問 慣用表現を用いた次の文の空欄には、それぞれ身体部位をあらわす漢字一文字が入ります。文脈から判断してもっともふさわしい漢字一文字を記しなさい。同じ漢字を複数回使用することはできません。

記16 目障りな敵が自滅して「 」がすく思いだ。

記17 のぼり調子のこの研究者は「 」で風を切る勢いだ。

記18 このアトリエは「 」に覚えがあるデザイナーたちの集まる場として有名だ。

第10問 次の傍線部のかなづかいが正しいければマーク欄「1」を、誤っていればマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ15 使<sup>つか</sup>いず<sup>く</sup>らい器具

マ16 おうせい(王制)を敷く

マ17 おうやけ(公)の機関

第11問 論述には、論理的に常に正しいものと、常に正しいとはかぎらないものとがありま  
す。次の文章が論理的に常に正しければマーク欄「1」を、常に正しいとはかぎらなけれ  
ばマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

【注】「ゆえに」の前の二つの文の叙述内容は常に正しいものであると仮定します。また、  
叙述の内容が実社会の現実と合っているとはかぎりません。

マ18 この検査キットは精度が高い。精度の高い検査キットは価格が安価ではない。ゆえ  
にこの検査キットは価格が安価ではない。

マ 19 この患者さんがリハビリをおこなうのはいつも金曜日だ。今日は金曜日だ。ゆえに今日、この患者さんはリハビリをおこなう。

マ 20 数学が嫌いな学生は統計学が苦手である。彼女は統計学が苦手である。ゆえに彼女は数学が嫌いである。

第12問 次の文と論理的に同じ内容となる文を選択肢からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

【注】 叙述の内容が社会の実態と合っているかどうかを問うものではありません。

マ 21 この事務所の職員は全員、公認会計士の資格を取得している。

「1」 公認会計士の資格のある者がいれば、それはこの事務所の職員である。

「2」 この事務所以外の職員はすべて公認会計士の資格を得ていない。

「3」 公認会計士の資格のない者がいれば、それはこの事務所の職員ではない。

第13問 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

私は看護師に、患者の食事についての思考の基準を持ちなさいと言いたい。それは、患者の昨日までの摂取量を思い出し、今日の必要摂取量を考えるということである。付添看護における患者の食事についての基準といえ、たいていのばあい、看護師は病人に与えるものとして手許に何を持っているかという、ただそれだけである。看護師として自分の手許にないものを患者に与えることはできない。それは当然であるが、病人の胃のほうは、看護師の都合はおろか、何かのつびきならない事情があつたばあいさえ、それに合わせて待っていたりはしてくれない。たとえば、今日まで決まつてある時間には飲んでいた元気づけの滋養飲料が、看護師がそれを手に入れられなかったという理由で、明日は飲めないというのでは、患者は辛い思いをすることであろう。看護師は常に創意工夫に努めることによって、不足や欠乏を補い、またどんなにやり繰り上手な人でも避けがたいような偶発事故が起こったときにも、それが患者に苦痛をもたらすものであるかぎり、何とかそれを收拾し解決しなければならぬ。そうでなければ、患者は「救われようもない」からである。

患者の食事がまだ手許に届かないからという理由のもとに患者を待たせる看護師がいるが、昨日は二時間待つのも無理だった患者が、どうして今日は四時間も待てるであろうか。にもかかわらず、まだ届かないなどという言い訳をよく耳にする。一方、これと逆のやり方もある。すなわち、何か食物が手に入る《やいなや》患者にそれを与えるというもので、これもまた同じく患者に害をもたらす。たまたまできたてのゼリーとか新鮮な果物などが届けられたとなると、看護師はそれらを食後三十分とか食事の真っ最中とかに、患者はもう、そんなものはおろかスープも喉を通りそうもないときにもお構いなしに勧めるのである。またもつと悪いことには、それをベッドのそばに置いて去る。それで患者は、見るだけで吐き気がして、結局は一口も食わずに終わる。

非常に些細なことであるが、ひとつ注意を与えておこう。患者のカップの受け皿にものをこぼさないこと。言い換えれば、カップの底は、いつもきれいに拭いておくこと。これを怠ると、患者はカップを口へ持つていくたびに受け皿を添えなければならず、そうしなければ<sup>すく</sup>手がたれて、シーツやガウン、枕、あるいは起きている患者であれば<sup>きも</sup>着衣を汚してしまう。このちょっとした注意のあるなしが、患者の安らぎに、ひいては患者の食事を摂ろうとする意欲に大きな相違をもたらすのであるが、なかなか人びとは気づかない。

フロレンス・ナイチンゲール『看護覚え書（改訳第7版）』湯楨ます ほか訳（現代社）

マ22 〽 27 次の各文が本文の内容と合っていればマーク欄「1」を、合っていない、もしくは本文に該当する記述がない場合はマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ22 看護師の側の都合で患者に食事を提供することを遅らせたばあい、それを補うために食事の量を増やすことを考えなければいけない。

マ23 カップの受け皿にものをこぼしてしまうと、それによってシーツや着物を汚してしまいかねないため、カップの底はきれいにしておくことを怠ってはならない。

マ24 新鮮な果物などが手に入ったときは、食後三十分以上経過したのちに、患者が自分の意思で食することができるよう工夫することが必要である。

マ25 偶発的なできごとが不可避免的に起こってしまったばあい、それが患者にとって苦痛であるかどうかにかかわらず、看護師はその事態收拾に努めねばならない。

マ26 食事まで二時間待てるか、あるいは四時間待てるかを、看護師は常に患者に確認し、できるだけ早く提供できるようにしなくてはならない。

マ27 看護師の創意工夫とは、看護師による不都合がもたらす患者の苦痛を取り除き、自分の手元にないものでも提供できるよう努めることである。

第14問 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

願いごとは、しばしば体の快適さや五感に関わる。「a」「これを食いたい」という望みは誰しも基本的な欲求として持っているもので、それだけに①である。私の祖母は亡くなる直前、寝たきりになってからも甘いものを好んで食べていた。固形物を口から食べられなくなっても、オロナミンCをいつも飲んでいた。もともと食べることが好きで、私も子どものころはいろいろなお店に連れていってもらったものだ。そうした飲食へのこだわりは、最後まで変わらなかった。

次の語りは、HCU（高度治療室）に勤める若手看護師が、初めて看取りを経験した場面を語ったものである。私のゼミ生だった岡部まやさんの修士論文から引用する（「急性期領域の若手看護師がもつ死生観に関する現象学的考察」）。

**Bさん** 次の日に一般病棟いつて亡くなったんですけど、「…」なんか「心臓のお薬」もうめちやくちやな量いつて。「…」で、なんかもう先生も治す治す、みたいな感じではなくって。ある程度ひろーい感じで見れる人だったの。「本人がどうしたいかだよねあ」とは「つていう感じだったの、」「どうしたいですか？」つて。「どこそこのプリンが食べたいんよー」つていう話とか。「生ものなんやけど、お寿司が食べたくなってー」つていう話とかしてて、『病院でお寿司かあ』つて思ったんですけど。先生にいったら、「こっそりやったらええんちゃう」みたいな話になって。ははは。「家族さんに自己責任で持ってきてもらいねー」つて感じで、結局、次の日かなんかに食べてはったみたいで。「何飲んでもいいの」つていわれたつて言つて、部屋にDCM（拡張型心筋症）の人にはありえないぐらい持ち込み食がぶわーつて置いてあつて。本人もそれがすごい満足してて。「食べたいもん食べれたー、食べれるつていいなあー」みたいな。

食えることは「へからだ」とは何か」という問いに直結する。一連の食べる動作や、美味しいという感覚、それらすべてが本人にとつての「へからだ」となる。「b」「c」が「大好きなお寿司を食べて満足する」というようなことが、病気による衰弱と医療による制限のなかで失われかけた自分の「へからだ」を回復する出来事となる。

末期の心臓病で厳格な食事制限を強いられている最中に、プリンや寿司が食べたいという願いごとをされたとき、どうするべきか医療者なら悩むだろう。病気を悪化させるリスクだけでなく、衛生管理の問題などもあるかもしれない。つまり、この場合には食べることが医療と対立している。ケアが医療と乖離するケースだ。「c」「d」、医師も「食べたい」という願いの重要性を経験上理解している。その願いが叶うことで、本人は「食べたいもん食べれたー、食べれるつていいなあー」と大きな満足を得る。

この「満足」というのは、「へからだ」を「a」する出来事でもある。本人にとつても家族にとつても、人生の最期に悔いを残さないための大事な経験であろう。一見すると些細なことだけれども、こうした願いの充足は生活上の大きな意味を持つ。もしも「食事制限があるからだめ」「安全を確保できないからだめ」と言つて、ルール優先で切り捨ててしまったとしたら、本人にとつて大事な願いが叶えられないままになってしまい、「e」が置き去りになったまま亡くなってしまうことになるだろう。

「お食い締め」という実践がある。人生の最期にさしかかって、自由にものを食べることがついに難しくなってきたとき、家族に見守られながら、本人がとりわけ食べたいものを食べるという行為だ。先のお寿司の例もその一種といえるだろう。

お食い締めを実践してきた言語聴覚士である牧野日和の本から、もうひとつ例を引く（牧野日和『最期まで口から食べるために2』、五二頁）。

**A** 裕子ちゃんは小学3年生のときに神経難病にかかり、胃ろうを造設し禁食になりました。裕子ちゃんは食べたいと訴えましたが、お母さんは「元気になったら食べようね」と



ごまかしました。そして、裕子ちゃんはみるうちに身体機能が低下。胃ろうのまま約2年間過ごしました。「…」裕子ちゃんの身体はやせ細り、全身の筋力が衰え、ぐったりとしています。余命1ヶ月となり、お母さんは焦りました。「また食べようね」とごまかしたことを罪悪感として背負い続けてきたからです。お母さんは訪れた私に、なんとかして最期に口から食べさせてあげたいと懇願しました。

裕子ちゃんの「食べたい」という願いは② 妨げられてきた。だが、死が近づいてきたとき、そのことに母親は「罪悪感」を感じる。それゆえ、願いを叶えたいと懇願する。母親の懇願は、子どもが食に対して抱いた〈小さな願い〉が、本質的な重要性を持つという「ウ」に由来するのだろう。誤嚥性肺炎のリスクがある際には、通常はタンパク質を食べることは避ける。「すぐに命を落とすかもしれない」<sup>ごえん</sup>と牧野は母親に告げた。しかし、母親と主治医の熱望に背中を押され、母親が食べさせたいと願った手料理のプリンを食べさせることに決める。続く場面を引用する(同、五五頁)。

二口めのプリンも一口め同様、のどの奥にゆっくりと落ちていくのが見えました。しかし、すぐには嚥下反射が起きません。「誤嚥したのでは!」とBキグした瞬間です。裕子ちゃんのどろろと反応しました。様子を見守っていたお母さんは、「食べた、食べた!」<sup>キグ</sup>と言って号泣しました。そして、「裕子もありがとうって言ってます」と言うのです。その言葉で私は裕子ちゃんを見て、魂が震えました。なんと、無反応、無表情だった裕子ちゃんの頬を大粒の涙が大量に流れていたのです。母の言うように裕子ちゃんは食べたかったです。

プリンを食べたことで「無反応、無表情だった裕子ちゃんの頬を大粒の涙が大量に流れて」、失いかけていた生気を裕子ちゃんを取り戻す。生気とは〈からだ〉そのものだ。このあと裕子ちゃんは主治医の予想を遥かに超えて一〇ヶ月間生きた。「食べる」という〈からだ〉の基本的な快と願いが、生を支えた。こうした事例は、統計的なエビデンスとは異なる次元で重要な意味を持つ。「d」、内側から感じられる体感であるがゆえに、その重要性は客観的なデータには現れにくく、個別のライフストーリーを通して見えてくる。

ここでは、母がつくったプリンを食べるという経験は取り替えようのない「エ」を持つ。誤嚥性肺炎のリスクをcオカシテまで、母がプリンにこだわったことには理由があっただろう。裕子ちゃんの人生と母親との関係全体に関わる何かが背景にある。母親がつくったプリンは、裕子ちゃんが元気だったころの好物だったのかもしれない。〈小さな願い〉は、個別的なものであり、それゆえ必然的に人生の③。

大事なことは、食べたいという裕子ちゃんの願いが叶ったことだけではない。願いを叶えることで、齟齬が生まれていた親子がもう一度つながり合ったということも大きな意味を持つ。本当に裕子ちゃんが「ありがとう」と言おうとしたのかどうか、それはわからない。しかし、涙を流すという「オ」は、母親によって感謝として受け取られた。このとき、〈出



会いの場」が開かれたといえる。本当の気持ちをごまかし、避け続けるなかですれ違ってきた母娘が、願いを叶えることにより、コミュニケーションを取りなおしている。食べ物という〈小さな願い〉は、実は ④ であつたのだ。〈からだ〉の肯定が〈出会いの場〉を開き、親子関係を再編成したのである。

村上靖彦『ケアとは何か―看護・福祉で大事なこと』（中公新書 2646）一部省略

記 19 傍線部Bの「キグ」を漢字で正確に書きなさい。

記 20 傍線部Cの「オカシテ」を漢字と送りがなで正確に書きなさい。

マ 28 空欄 ① に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- [1] 大事な望み
- [2] ありふれたもの
- [3] 死生観の問題
- [4] 医療の中心となるテーマ

マ 29 空欄 ② に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- [1] 病院の規則によって
- [2] 周囲の声によって
- [3] 母親の独断によって
- [4] 医療的な判断によって

マ 30 空欄 ③ に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- [1] 全体とは無関係である
- [2] 個々の瞬間に関わる
- [3] ストーリー全体を背負う
- [4] トータルな流れに逆らうものである

マ31 空欄 ④ に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- 〔1〕 最重要の医療テーマ
- 〔2〕 娘から母への感謝の気持ち
- 〔3〕 親子関係全体の焦点
- 〔4〕 医療の限界を示す事例

マ32 文中の「ア」から「オ」に入る言葉の組み合わせとして最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- |     |         |          |        |         |        |
|-----|---------|----------|--------|---------|--------|
| 〔1〕 | 〔ア〕 再生化 | 〔イ〕 本人   | 〔ウ〕 体験 | 〔エ〕 普遍性 | 〔オ〕 作用 |
| 〔2〕 | 〔ア〕 再認識 | 〔イ〕 希望   | 〔ウ〕 計算 | 〔エ〕 現実味 | 〔オ〕 反応 |
| 〔3〕 | 〔ア〕 正常化 | 〔イ〕 〈ころ〉 | 〔ウ〕 本能 | 〔エ〕 信憑性 | 〔オ〕 機能 |
| 〔4〕 | 〔ア〕 再修正 | 〔イ〕 経験   | 〔ウ〕 願望 | 〔エ〕 説得力 | 〔オ〕 情動 |
| 〔5〕 | 〔ア〕 再発見 | 〔イ〕 当事者  | 〔ウ〕 直感 | 〔エ〕 個別性 | 〔オ〕 応答 |

マ33 文中の「a」から「d」に入る最もふさわしいものを以下からそれぞれひとつずつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。同じ語の重複使用は認めません。なお、使用しないものがひとつあります。

- |     |       |
|-----|-------|
| マ33 | 〔 a 〕 |
| マ34 | 〔 b 〕 |
| マ35 | 〔 c 〕 |
| マ36 | 〔 d 〕 |

- |     |     |     |      |     |     |     |     |     |      |
|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 〔1〕 | しかし | 〔2〕 | それゆえ | 〔3〕 | むしろ | 〔4〕 | つまり | 〔5〕 | たとえば |
|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|

記21 傍線部A以下の「裕子ちゃん」のケースにおいて、「食べたい」という小さな願いを叶えること」に筆者が見出した意義はどのようなことか、説明しなさい。解答は五〇文字以上六〇文字以下の一文で記すこと。句読点も一字分とします。冒頭の一字下げは不要です。